



第29回横浜祭

— 「voyage」新たな地平を目指して —

第29回 東京都市大学 横浜祭実行委員会 会長

メディア情報学部 社会メディア学科 3年 齋藤 真範

第29回横浜祭は、「voyage(航海)」をテーマに掲げ、「新たな地平を目指す」という前向きなメッセージのもと開催されました。このテーマには、未来への希望や夢を共有しながら、一歩先の自分たちへと進むという想いが込められています。

今年は幹部メンバーが大きく入れ替わり、新体制での船出となりました。過去のノウハウを受け継ぐとともに、新しい発想や工夫を取り入れながら、横浜祭をさらに発展させるべく準備を進めてきました。その過程では、前日準備中に参加団体との間でトラブルが発生し、一時的に物品の貸し出しを中断せざるを得ない場面もありました。しかし、委員一人ひとりが冷静に状況を把握し、協議を重ねながら迅速に対応したことで、無事に解決へと導くことができました。こうした経験を通して、実行委員全員がチームとしての結束を一層強めることができました。

当日は天候にも恵まれ、多くの方々にご来場いただきました。特に芸能人企画「都市大お笑いフェスタ」や「横浜祭グッズ」販売は、学生のみならず地域の方々や卒業生、そして子どもから大人まで幅広い世代に楽しんでいただくことができました。

発足から本番当日まで、幹部を中心に個性豊かな100名以上の仲間たちとともに企画・準備・運営を重ねてきた日々は、私たちにとってかけがえのない経験となりました。また、参加団体をはじめ、地域団体や課外活動団体など多くの方々のご協力により、横浜祭を成功させることができたことに深く感謝申し上げます。

第30回となる次回の横浜祭は、一つの節目としてさらに充実したものになると確信しています。これまで受け継がれてきた横浜祭の想いを大切にしながら、新たな歴史の一步を踏み出す第30回横浜祭にも、ぜひご期待ください。

事務局だより

世田谷キャンパス副学生部長として、後援会の事務・運営に携わらせていただいております。久保 哲也 学生部長/後援会事務局長とともに、在学生のキャンパスライフの一層の充実に向けて、様々な学生支援に努めてまいります。

日々の学生活動はますます活発になり、9月には横浜祭が、11月には世田谷祭が横浜・世田谷各キャンパスで開催され、多くの方にご来場いただきました。これら学園祭をはじめ、活気あるキャンパスライフを支える課外活動におきましては、後援会会員の皆様からの多大なご支援をいただいております。2キャンパス間を行き来するシャトルバスも、後援

会の支援を受けて運行されております。

目まぐるしく変化する社会情勢を受け、学生のニーズも多様化しております。後援会では、すべての学生が有意義な学生生活を送れるよう、今後も様々な支援を計画・検討してまいります。引き続き、会員の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

世田谷キャンパス副学生部長
理工学部 応用化学科 教授
黒岩 崇

